

令和7年度版

御殿場

EDUCATION IN

Gotemba

の

教育

御殿場市教育委員会

〒412-8601
静岡県御殿場市萩原483番地

0550-82-4520 教育総務課

御殿場市教育委員会 Instagram ▶

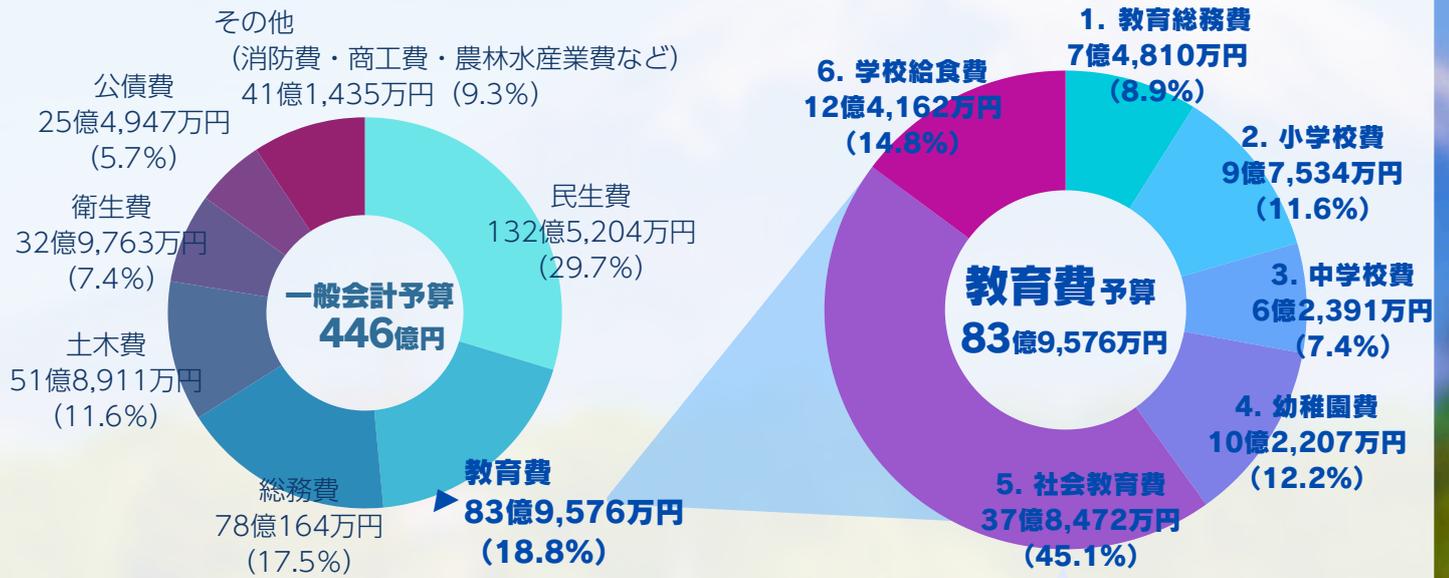


GTMB_EDU



教育予算

令和7年度 御殿場市の教育予算と一般会計予算



教育費予算の主な使いみち

1. 教育総務費……教育委員会や事務局運営、教職員の健康管理や学校教育支援に関する経費等
2. 小学校費……小学校運営に関する諸経費、施設整備、ICT機器整備等に関する経費等
3. 中学校費……中学校運営に関する諸経費、施設整備、ICT機器整備等に関する経費等
4. 幼稚園費……幼稚園運営に関する人件費等
5. 社会教育費……社会教育、生涯学習、文化財事業、図書館運営に関する諸経費、芸術文化振興に関する経費等
6. 学校給食費……学校給食を提供するための経費

御殿場市の概要 令和7年3月31日現在

●面積：194.9km²

●人口：83,592人

●世帯数：37,693世帯



公立幼稚園・小中学校概況

令和7年5月1日現在

公立幼稚園		公立小中学校			
区分	総数	区分	総数	小学校	中学校
園数	6	学校数	17	11	6
園児数	315	児童生徒数	6,147	3,989	2,158
学級数	25	学級数	252	170	82
教職員数	78	教職員数	538	343	195

※学校数は分校を含む。 ※教職員数は一部の非常勤講師等を含まない。



小中学校の児童生徒数の推移



4

ごてんばの教育がめざすもの

御殿場市教育委員会の役割は、幼児期・学齢期・成人期のそれぞれの年代での「学び」を一つの線としてつなぎ、市民一人ひとりが生きがいと誇りを持った生活を実現できるようにすることです。

このように市民の生涯学習を支えるという視点に立ち『御殿場市の教育に関する大綱』（令和3年度から令和7年度）を定めました。

5

富士山のように大きな心を持った人づくり

御殿場市の教育に関する大綱（令和3年度から令和7年度）

1 人生の礎となる幼児期、学齢期の教育の充実を目指します。

変化の激しい時代となり、今までになかった課題が次々と生まれています。このような時代の中で、人々が長い人生を生きていくためには、知識だけではなく思考力やコミュニケーション能力など様々な力が必要とされます。

学びの基礎となる幼児教育や学校教育への期待も今まで以上に大きくなっています。生きる力を育むために幼児期、学齢期の教育の充実を目指します。

2 市民のだれもがあらゆる機会、あらゆる場所で学び続ける環境づくりを目指します。

社会人になれば、学びが終わるわけではありません。生涯学習という言葉の通り、人は常に学び続けていきます。学びのニーズは多種多様ですが、誰でも、いつでも、どこでも学びが実現できるようにすることが、人々の暮らしの充実につながります。

学びのニーズを的確にキャッチし、充実した学びの環境をつくり、その学びの成果を適切に活かすことのできる社会づくりを目指します。

3 社会総がかりで子どもを育て、市民が共に成長できるまちづくりを目指します。

子どもの健全な成長は、家庭・地域・学校が連携、協力することによって実現できます。「御殿場市子ども条例」で示したように、社会総がかりで子どもを育てていくことが大切であり必要です。

今を生き、未来を担う子どもの育成のために、市民一人一人が「当事者意識」をもって主体的に関わることで、市民自身の自己実現が図られ、より充実した生活につながることを目指します。

6

誰一人取り残すことのない学びの実現に向けて

第2期 御殿場市教育振興基本計画（令和3年度から令和7年度）

6つの

重点政策

「富士山のように大きな心を持った人づくり」の実現に向けて「第2期御殿場市教育振興基本計画」に掲げる6つの重点政策を推進します。

キーワードは『誰一人取り残すことのない学びの実現に向けて』。

● 人を育む環境の充実

● 歴史と文化の継承

● 生涯学習と地域活動の推進

● スポーツの振興

● 芸術・文化活動の振興

● 多文化共生と国際交流の推進



各種計画等はここから閲覧できます



御殿場市の教育に関する大綱



御殿場市教育振興基本計画



令和7年度教育施策・基本方針



重点施策・事業の紹介

1 人を育む環境の充実

学校教育の分野

開かれた学校・魅力ある学校 づくりの推進 ~コミュニティ・スクール~

●コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会（学校の運営に関して協議する機関で、教育委員会が学校や地域の实情に応じて設置する）を設置している学校のことをいい、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める、法律に基づいた仕組みです。

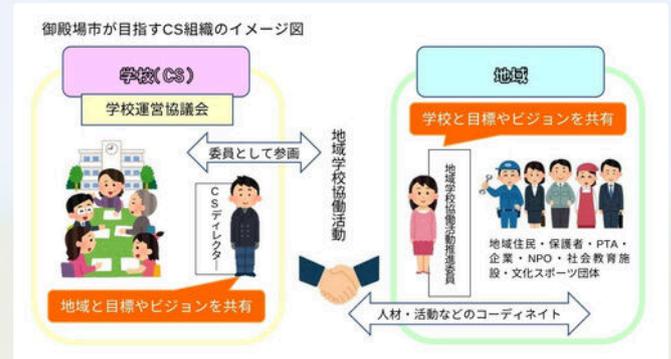
学習指導要領の柱の一つでもある『社会に開かれた教育課程』の実現に向け、これからの学校は、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域一体となって子どもたちを育てていくことが必要となります。また、このことは、御殿場市子ども条例の目的である「子どもを社会全体で育成し、支えていくための取組について、その基本理念を明らかにすることにより、今を生き、未来を担う子どもの育成に主体的に関わり、もって全ての子どもが生き生きと輝き、健やかに成長していける社会の実現を図ること」にもつながる考え方でもあります。

一方、国は平成29年3月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正によりすべての公立学校がコミュニティ・スクール（以後「CS」といいます。）化されることを目指し、学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務となりました。

●「学校運営協議会制度」への移行

これまでの「学校評議員制度」「学校関係者評価委員制度」は、開かれた学校づくりの実現に向けた、学校と地域との協働関係・信頼関係の土台となる大切な取組でした。本市では、CSの導入に伴い、これらの会議体・評価機能を順次「学校運営協議会制度」へ移行していきます。

この移行により、これまで以上に学校を支えるための組織的・継続的な体制が確立され、従来の「学校評議員制度」「学校関係者評価委員制度」の取組がより一層充実し、地域とともにある学校づくりの実現に向けた取組を進めていきます。



●CS導入に向けた取り組み

- 令和元年度
 - ・御殿場市学校運営協議会設置規則制定
- 令和2年度
 - ・富士岡中学校をCS研究指定校に認定（令和2・3年度）
 - ・富士岡中元校長をCSディレクターとして委嘱
- 令和3年度
 - ・富士岡中学校にCS設置
- 令和4年度
 - ・高根小・中学校をCS研究指定校に認定（令和4・5年度）
- 令和5年度
 - ・高根小・中学校に設置
 - ・富士岡中学校CSに富士岡小学校・神山小学校が加わる
- 令和6年度
 - ・御殿場南小学校、南中学校にそれぞれ設置
- 令和7年度
 - ・原里小・中学校に設置
 - ・朝日小学校に設置
 - ・玉穂小学校・印野小学校・西中学校に設置
- 令和9年度（予定）
 - ・御殿場小学校・東小学校・御殿場中学校に設置



重点施策・事業の紹介

●これまでの取組の中で見えてきた成果と課題

○成果

- ・元校長等をCSディレクターに配置したことで、学校の事情や地域の実態を的確に捉えているため、双方への理解を生かしながら円滑なCSの活動へつなげられた。
- ・学校内で保護者や地域の方との関わりが増えたことにより、子どもたちのコミュニケーション能力の高まりが感じられた。
- ・地域人材を積極的に活用していこうという教職員の意識の高まりが感じられた。
- ・地域行事等に子どもたちが積極的に関わることで、地域の活性化へつながる様子が見られた。

○課題

- ・教職員は人事異動で毎年人が入れ替わり、保護者も子どもの卒業と同時に学校から離れていく状況の中で、地域の方々を中心とした持続可能なCSの組織づくりを行っていくことが必要である。
- ・教職員の地域とともにある学校づくりへの意識が高まる一方、学校側の家庭や地域の支援を受けられるという受け身的な側面も見られる。

●まとめ

本市では、持続可能なCSを目指して、地域とともにある学校づくりを推進しています。本市が理想とする持続可能なCSとは、人の異動があっても途絶えることなく、その時代・地域にあった在り方でCSの活動が引き継がれていくこと、地域のみなさんに支えられて学び、成長していった子どもたちが、やがて大人となり、今度は地域の担い手として、次の世代の子どもたちを支えていくことと捉えています。

CSにより、学校を核としてつながった人と人との絆は、学校の教育活動を活性化させるとともに、地域力を高め、子どもたちを含めた地域の人々が、安心・安全に楽しく過ごせる地域の環境づくりにもつながる魅力的な取組であると考えています。

教育施設の分野

学校等の教育施設・設備の充実

●御殿場中学校・原里中学校の校舎改修に向けたワークショップを開催

令和6年4月より、両中学校の校舎改修設計に取り組んでいます。いまの時代に合ったより良い学校を目指すために、利用者である生徒・教職員・保護者・地域の皆さんの多様な意見をうかがうワークショップを開催しました。



ワークショップでは、両中学校の歴史や伝統、生徒や教職員のみなさんが生活していて不便なところを教えていただきました。また、それらを改善した「計画案」を提案し、参加者のみなさんに意見をうかがいました。ワークショップでいただいた意見をもとに、今後の設計を行っていく予定です。





重点施策・事業の紹介

教育総務の分野

学校設備の充実

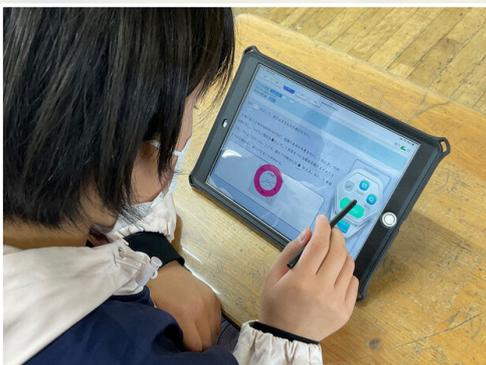
●ICTを活用した教育の推進と機器の整備

学校におけるICT環境（1人1台端末、校務用パソコン、大型提示装置等）について、現状の水準を維持しつつ、新たに効果的な整備を進めることで、児童生徒一人ひとりが個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できるICT環境の充実を図ります。



特に、1人1台端末については、令和8年4月から新しい端末を使用するべく、準備を進めております。

また、年3回を予定している教育ICT推進委員会にて、授業等での効果的なICTの活用について、教員間で共有を図ってまいります。



学校給食の分野

学校給食の充実

●安全・安心な学校給食の提供

安全・安心な学校給食を提供し続けるため、老朽化した西学校給食センターの改修事業を実施し

ています。

また、衛生管理マニュアル等を作成し定期的な見直しを実施するとともに、衛生講習会等を実施し、職員への研修の機会を設けています。

●こめこカレー・こめこハヤシ

御殿場コシヒカリの米粉を使用し、小麦粉など特定原材料8品目を使用しないカレーおよびハヤシを年に計3回給食で提供しています。

普段、食物アレルギー等で給食が食べられない児童生徒にも、皆と同じ献立の給食を食べてもらえる特別なメニューです。

●地場産品の利用促進

毎月1回の「ごてんばこめこの日」、6月の「ふるさと給食週間」、11月の「地場産物活用週間」など、地場産品を多く使う日を設けて地場産品の利用促進を図っています。



●給食だより・給食献立表の発行

食育の生きた教材である給食を通じて、幅広い食に関する知識を学べるような献立や家庭を通じても学習できる給食だよりを発行しています。

市ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。



●給食費の助成事業

2019年10月、子育て世帯の負担軽減のため、児童生徒の保護者が負担する給食費の4分の1を市で補助する助成事業を開始しました。

また、近年の物価高騰分についても市で補助し、給食の質を維持しています。



重点施策・事業の紹介

社会教育の分野

社会全体で子どもを育む取組

●家庭教育力、地域教育力の向上

子育てに関する学習講座など、学びあいの機会の充実による家庭の教育力向上に取り組みます。

また、家庭、地域、学校の連携による、地域の教育力向上に取り組みます。

●青少年の健全育成

青少年が多様な体験を行えるよう、様々な人々との交流活動や自然体験活動などの機会の充実を図り、地域活動やボランティア活動などの社会参加を促進します。

また、各地区の青少年健全育成組織の活性化や、青少年補導、相談活動、青少年を有害情報から守るための取組などを推進します。



2 生涯学習と地域活動の推進

社会教育の分野

学びの場と機会の充実

●学習機会の提供、学習成果の発信

生涯学習施設「富士山市民のサロン けやきかん」を中心に、学びの入り口となる様々な機会を提供し、情報発信するとともに、市民主体の学習活動を支援します。また、令和7年度は第17回生涯学習のつどい「ごてんばDONDON」を開催するなど、学習成果を発表する機会の充実に努めます。

●地域づくり活動の支援

学習会や研修活動を通し、地域づくり活動を担う人材の育成を推進します。

また、地域の誰もが参加しやすい交流の場づくりとして、地域公民館などにおける生涯学習活動を支援します。

●社会教育関係団体等の活動支援

PTA、婦人会、生涯学習ボランティアセンターをはじめ、地域の社会教育を目的とした各種団体の活動を支援します。

●図書館機能の充実

市民のニーズに応えた図書館資料の充実を図るとともに、市民の課題解決を支援するサービスを充実させることで、自ら課題解決ができる市民を育む機能を提供していきます。

また、いよいよ完成する新図書館については、令和8年4月の開館に向け、資料等の移転・配架及び開館準備を進め、「郷土を知り 学びをはぐくみ 相互につながる図書館」を将来像に掲げ、新たなランドマークとなる施設として整備を進めてまいります。



新図書館は郷土資料館機能を併せ持つ施設として、令和8年4月開館予定！

(市民交流センター「ふじざくら」南側に整備中)

☁️ 新図書館 外観イメージ図



☁️ 新図書館 内観イメージ図



重点施策・事業の紹介

3 文化・芸術活動の振興

社会教育の分野

世代間の交流・活動の支援

●文化・芸術活動機会の充実

御殿場市、市教育委員会、文化協会の三者からなる市民芸術祭実行委員会を組織し、ステージ部門、展示部門、その他部門を通年で開催します。

市民芸術祭について若い世代の参加を促すとともに、所管する文化施設である御殿場市民会館、東山旧岸邸の自主事業等も含めて、市民が文化芸術活動に親しむ機会のさらなる創出に努めます。

●文化・芸術活動体制の強化

文化協会に対する補助金や活動支援を通じて、文化芸術活動の担い手となる人材の育成と団体の体制強化を図ります。

また、文化芸術活動に取り組む市民を増やすだけでなく、観客や支援者を含めた文化芸術活動に関わる「関係人口」の増加に努めます。



令和6年度 ごてんば市民芸術祭「オープニングセレモニー」

●文化・芸術活動基盤の確保

所管する文化施設である御殿場市民会館、東山旧岸邸について、指定管理者と協力して利用者のニーズに応じた適切な管理・運営を進めます。

本館が国の登録有形文化財である東山旧岸邸については、文化財としての価値を維持しながら、公開・活用を進めます。

また、各施設の有効活用を図るとともに、補修・整備などを実施し、身近に文化・芸術を感じられるまちの「舞台づくり」に努めます。

4 歴史と文化の継承

社会教育の分野

歴史・文化の学びの場の提供

●歴史と文化の調査・研究と支援

御殿場市文化財審議会委員、御殿場市歴史民俗研究会等の協力を得て、市内の歴史、伝統、文化に関する資料の収集、記録、保存を行うとともに、研究者や市民などの研究活動を支援します。

また、継続事業である神社棟札調査について、玉穂地区の追加調査を行い、調査報告書を刊行します。

●文化財等の公開・展示と活用

市内に所在する文化財の調査・研究の成果を広く公開するため、企画展示の開催、小学校や市民団体等の学習講座に出向き講師として学習を支援します。

また、新図書館における郷土資料展示及び公開収蔵施設の整備を進めます。



●世界遺産富士山の保全と啓発

国指定文化財である特別名勝及び史跡富士山としての管理、世界文化遺産協議会への出席、各種指標の経過観察や景観の定点観測、観光交流課と協力しての山中の現況調査等を実施します。

また、県富士山世界遺産センター・裾野市と三者共同で実施した須山口・御殿場口登山道の巡礼路調査の成果を基に、世界文化遺産富士山リーフレットを改訂します。

●郷土資料展示の整備

郷土資料展示については、新図書館内に併設して郷土資料展示室及び公開収蔵施設として整備するものとし、令和8年の開館に向けて展示製作・設置・収蔵資料の移動を進めます。

御殿場デジタル資料館

歴史や文化財、富士山と人々の関わりを紹介するデジタルミュージアムです。ご利用ください。

●問い合わせ…社会教育課 ☎0550-82-4319





令和8年4月開館予定！ 新御殿場市立図書館

開館に向けて現在工事中の新御殿場市立図書館を紹介します

利用者の多様なニーズに応え、多くの人が集い、交流できる施設としていきます。開館まで楽しみにお待ちください！

基本コンセプト「御殿場の伝統的な古民家」

御殿場の伝統的な古民家を持つ特徴を取り入れ、訪れるすべての人をやさしく包み、知り、学び、つながる、リビングのような図書館を基本コンセプトとしています。

新図書館の大きな特徴「コマ」

明るく開放的な大空間として設計しており、その中に、古民家の特徴の1つである「コマ（いわゆる「居間」のこと）を設けます。一般的な書架とは別に「コマ」を館内に点在させ、各コマに割り当てたテーマに沿った本を配架することを大きな特徴としています。

新図書館でできる新しい機能

セルフ貸出・返却機、予約本のセルフ受取、知育コンテンツ、ブックタワーなどの遊具、学習室のネット予約、広大なテラス席、人気のカフェなど、多くの新しい機能を導入します。

▼建設中の新図書館（令和7年4月末時点）



もうひとつの魅力「郷土資料館機能」

新図書館は郷土資料館の機能も併せ持ちます。子どもから大人まで幅広い年代の方々に、何度来ても楽しんでいただけるよう、魅力的な民俗資料などの展示や、最新の技術を用いた、体験型のコンテンツを設けます。

「新御殿場市立図書館等実施設計概要」を市ホームページに掲載しています



未来を創る場所 ～教育の現場から～



2025.4月
市学校事務員研修会
学校現場を交える！研修を通じて情報共有します



2024.2月
御殿場方言かるた
市制施行70周年を記念して作成しました！



公立幼稚園で降園後の
預かり保育を行なっています
降園後から午後5時まで預かり保育を行なっています！



2025.4月
新しい季節 新しい一歩！
あたたかな春の日差しのなか入学式が行われました



2025.6月
給食になった物語・絵本の企画展示
図書館では楽しい企画展示をたくさん行なっています



2025.2.13
市制70周年おめでとう献立
御殿場の恵みたっぷりの給食でお祝いました！

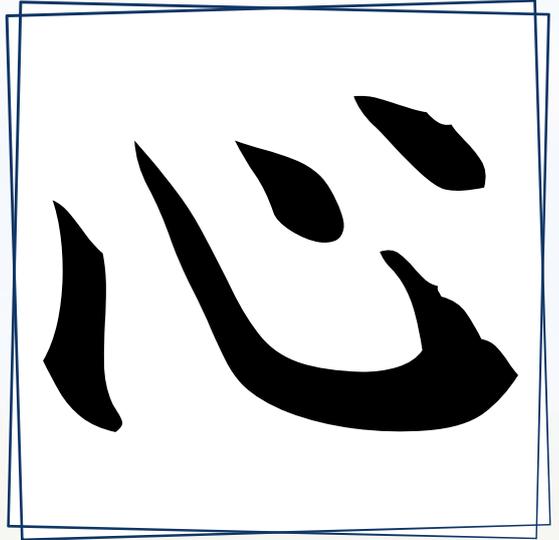
言葉の贈りもの ～教育長と教育委員より～



御殿場市教育長
勝亦 重夫

一文字に込めた
メッセージ

教師になり3年ほど経た時のエピソードを、今でも時々思い出します。仕事にも慣れ色々なことが分かってきたかなと勘違いしていた頃に、ある授業研修会に参加後、先輩か



ら感想を求められました。私は「なんかつまらなかつたですね」と言ったところ、先輩から「それって重夫先生がつまらなくしているのではないの？どう受け止めるのが大事だよな。」と言われ返す言葉がありませんでした。

物事をプラスに受け止めるか、それともマイナスに受け止めるかはやはり自分次第で、自分の心が決めることです。相田みつをさんは「しあわせはいつもじぶんのこころがきめる」という素敵な言葉を残されています。御殿場の教育は「心を育むこと」を基盤としています。子どもたちの心がより大きく成長し、幸せを感じられるようにしていきたいです。



「音楽が教えてくれること」

～音楽や芸術が教育や人づくりに与える影響について～



御殿場市教育委員 大西 孝明

んびよん飛びながら、「ねえねえこれ買って」と、感情表現や自己表現ができてきます。

楽曲の演奏は、継続的な集中力が必要です。リズム・テンポ・音程・メロディーを、正確に演奏するためには、自己表現の能力も求められます。

音楽を勉強し、管楽器・鍵盤楽器・弦楽器等々を、演奏することは思考力や記憶力を向上させます。リズムやメロディーを覚えるためには、身体でリズムを取り、頭で音符を正確に理解し、指先に音階を覚えさせ曲を演奏する事で、身体が覚えるため頭と指先が連動し、集中力や情報の処理能力が高まります。

例えば、子どもの頃に、自転車や練習して乗った後は、数年・数十年乗らなくても身体が覚えているので、最初はふらついていても無意識にバランスが取れ、即乗ることができます。

音楽教育は、子どもの表現力の発達に大きな影響を与えます。何かを伝えるとき、嬉しい時はぴよ

子ども達は、自己成長や自己管理の能力を養うと思います。音楽は、グループで演奏することが多く、他のメンバーと協力して作るものなので、社会性や協調性にも影響を与えます。一人でも演奏は出来ませんが、音と音の重なりによるしさを覚えると、人とのつながりを求めます。

芸術は、人間社会において重要な役割が有り、音楽ライブ・歌舞伎等のライブ舞台芸術・洋画邦画映画等々、数ある芸術は個人の感情や考えを表現するので、子ども達に感動を与えるため、教育や人づくりに与える影響は大きいと思います。

言葉の贈りもの ～教育長と教育委員より～

「学校施設から見る教育の未来」



御殿場市教育委員 勝又 英和

しかしながら、その教育施設も近年の児童数の減少などにより、他では統廃合の検討も余儀なくされてはいます。通学距離が長くなったり、子どもたちの生活環境も大きく変わり、地域との繋がりも希薄になったりと問題点も出て来ます。

御殿場市では以前より「御殿場市子ども条例」を制定し、地域全体や市全体で子どもたちを見守り育てて行こうと活動しております。今後はコミュニティスクールの充実により、学校は今まで以上に地域と密着した、教育施設となり、市民全体で子供たちを育てて行くと言う目標にも近づいていると思います。

思い起こせば、自分が小学校に通っていた頃には、木造の校舎が主流で鉄筋コンクリート造の校舎は教職員室があった本館だけだった様に記憶しています。また、各学校では給食室があり、給食を調理しておりましたので毎日お昼前になると、良い匂いを漂わせていました。冬の暖房は石炭のダルマストーブです。



「親としての教育への思い」



御殿場市教育委員 杉山 ゆかり

教育委員として活動をする中で、学校現場の様々な取組を通して、社会が大きく変化してきているのだと感じる機会が増えました。ICT機器の活用、個別最適化された学び、子どもたちが『受け身の学び』から『主体的な学び』へと移行している様子を目の当たりにしています。私たち親世代が育ってきた時代とは違い、教えられた知識を覚えるだけではなく、行動する学びへと変わってきているのだと実感しています。社会が大きく変化する今、子どもたち一人ひとりが持つ個性や強みを大切にしながら、未来を切り開く力を育てていくことが、これからの教育に求められているのだと感じます。

親としては子どもたちには失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしてほしい、そう思っています。成功することだけではなく、失敗を経験することで学ぶこともたくさんあります。そんな挑戦することや努力する姿勢を評価し、子どもたちが安心して学び続けられる教育環境であってほしいと願っています。





言葉の贈りもの ～教育長と教育委員より～

「経営の視点で教育を考える」



御殿場市教育委員 菅沼 泉

感じます。

このような体験学習の企画は誰が担っているのか、おそらく教員が主体となっているのでしょうか。一方で受け入れ側の企業の多くは人材の確保が大きな経営課題となっており、経営者が腐心している現実があります。生徒の将来を見据えた学校や教員の教育的価値と将来の人材確保に向けた価値とを考える企業の間には価値が存在するのではないのでしょうか。生徒の将来のために学校と企業が生徒の体験学習において連携することでさらに良い体験を生徒に提供できる可能性があります。さらに業種を拡大充実に、製造工場で自動加工機の操作をしてみる、あるいは治工具を取り付けて動かしてみるといった経験も市内で可能です。生徒も自分の興味のあることを選択できるようにすればより効果的だと思います。

記憶するところ、小学生の時に社会科学見学で企業など施設に出向き説明を受けました。見学であり作業体験はありませんし、義務教育後の進路を考える中学校ではなかったように思います。最近では中学生でもこうした機会が増えており、商品売ることや並べることとを体験するというのを聞きまます。生徒が実体験を積むことで関心や興味を持ちあるいは感動し、将来を考えるよう進化していると

生徒の体験学習の創造に三者が関わり合いを持つことで自立的な学びの場となるでしょうし、職業教育の充実という文部科学省が掲げる課題に沿った学校教育の一面を担うことになるのではないかと考えます。

「地域のチカラと教育」



御殿場市教育委員 長田 光男

おります。

現代社会同様教育現場においてもいじめや不登校、教員の多忙化、部活動の地域移行など多くの課題を抱えております。御殿場市では学校と地域社会が協力して子どもたちの教育を支える仕組み、コミュニティスクール（以下CS）を令和3年度より富士岡中学校に導入、令和9年度までには市内全ての小中学校に導入される予定です。地域住民や保護者が学校運営に参加することで、地域全体の教育力が向上し、これにより、いじめや不登校などの問題に対処しやすくなります。少子高齢化や経済格差などの社会的課題に対しても、地域全体で取り組むことができます。CSは御殿場市子ども条例の目的「子どもを社会全体で育成する」基本理念を遂行するための仕組みであるとお考えいただき、多くの市民の皆さまに学校運営協議会や地域学校協働本部などの活動に関わっていただき、学校、保護者、地域の皆さんで共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、子どもたちの豊かな成長を支え、地域と共にある学校づくりをしていきたいと思います。

地球温暖化・日本では少子高齢化・物価高・経済格差など様々な難題に直面しており、政府や企業、個人が協力して解決策を見つけていることが求められている現代社会にあつて、後退させてはならないものに学び（教育）があります。御殿場市には未来を担う子どもたちが生き生きと輝き、健やかに成長していける社会を実現するために制定された「御殿場市子ども条例」があり、子どもを社会全体で育成するための基本理念を定め、保護者、市民、地域団体、学校、事業者、市のそれぞれの役割が明確に示されており、具体的な取り組みや行動を定めた「御殿場市子ども条例行動計画」では大人が考えるべきこと、とるべき行動が定められており、市民・社会総がかりで子どもを育てることにより、誰一人取り残すことのない学びを実現し、富士山のように大きな心を持った人づくりを目指して



御殿場市内所在の指定・登録文化財

国指定の文化財

種別	名称	指定年月日
特別名勝	富士山	昭和27年11月22日
史跡	富士山	平成23年2月7日
天然記念物	印野の熔岩隧道	昭和2年4月8日
天然記念物	駒門風穴	大正11年3月8日
重要文化財	手焙形土器	昭和48年6月6日
重要無形民俗文化財	沼田・大坂の湯立神楽	令和4年3月23日



◀沼田の湯立神楽

▼手焙形土器



◀大坂の湯立神楽

県指定の文化財

種別	名称	指定年月日
史跡	深沢城跡	昭和35年2月23日
天然記念物	二枚橋の柏	昭和32年12月25日
天然記念物	永塚の大杉	昭和35年2月23日
天然記念物	川柳浅間神社の杉	昭和38年12月27日
天然記念物	宝永のスギ	昭和38年2月19日
工芸	刀銘(葵文) 主水正藤原正清	昭和37年6月15日
工芸	刀銘備州長船家重	昭和41年3月22日

市指定の文化財

種別	名称	指定年月日	種別	名称	指定年月日
天然記念物	二岡神社の社叢	昭和62年3月3日	工芸	善龍寺の喚鐘	昭和47年9月11日
天然記念物	駒門の大公孫樹	昭和55年5月27日	工芸	久成寺の鰐口	平成12年8月1日
天然記念物	神山のタブノキ	平成2年12月1日	建造物	林氏の長屋門	平成5年1月5日
天然記念物	印野内山のヒノキ	平成6年2月1日	建造物	旧石田家住宅	平成11年3月18日
無形民俗文化財	鮎沢の祈禱三番	昭和48年12月24日	建造物	旧秩父宮御殿場御別邸	平成12年3月27日
工芸	光真寺の三十三体仏	平成5年1月5日	その他(科学技術)	阿部雲気流博物館資料	令和3年3月24日
工芸	二岡神社の灯笼	昭和47年9月11日			

国登録の文化財

種別	名称	指定年月日
建造物	神山復生病院事務所棟	平成18年3月2日
建造物	富士カントリー倶楽部クラブハウス	平成24年2月23日
建造物	YMCA東山荘フィッシャー館	令和2年8月17日
建造物	YMCA東山荘齊藤記念館	令和2年8月17日
建造物	旧岸邸	令和3年10月14日



▲神山復生病院事務所棟



▼旧秩父宮御殿場御別邸

御殿場デジタル資料館

歴史や文化財、富士山と人々との関わりを紹介するデジタルミュージアムです。ご活用ください。
●問い合わせ…社会教育課 ☎0550-82-4319





学ぼう！作ろう！やってみよう！

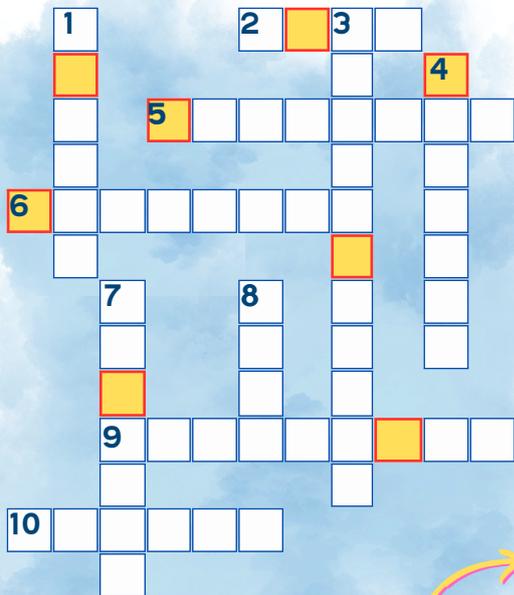


楽しく学ぼう 御殿場の文化

ご当地クロスワードパズル

御殿場市内の10個の文化財や史跡がキーワード！

@ページをヒントに挑戦しよう！



赤枠の文字を並べてできる言葉は？



※答えのヒント…御殿場市の教育大綱「～大きな心を持った人づくり」

→→→ 横のキーワード →→→

- 2：日本一の山。世界文化遺産。
- 5：室町時代に寄進された北駿最古の石灯籠がある歴史ある神社。
- 6：印野丸尾溶岩流による洞窟。
- 9：秩父宮家の御別邸。●●●●御殿場御別邸。
- 10：当市と箱根町に伝わる全国的にも珍しい伝統芸能。沼田と大坂は国指定の重要無形民俗文化財。

↓↓↓ 縦のキーワード ↓↓↓

- 1：寺宝である喚鐘は1749年、富士山頂の浅間神宮に寄進され明治時代の廃仏毀釈によりこの寺に移された。
- 3：光真寺境内にある阿弥陀三尊像・観音像・巡礼供養塔など石造物一体の総称。
- 4：富士山麓の景観にマッチしたゴルフ場のクラブハウス。●●●●●●●●倶楽部クラブハウス。
- 7：市内東山にある建物。伝統的数寄屋建築と現代的住まいが両立。吉田五十八が設計。
- 8：久成寺仏堂の正面軒先に吊り下げられた仏具。ひもを振ると敵かな音が響きます。

クロスワードパズル正解者プレゼント 応募はこちら ▼

※抽選でプレゼントがあります…令和8年3月末日 応募締切

【プレゼント協賛】
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社中部第二支店



作ってみよう！ 学校給食 人気レシピ 栄養士厳選 ～給食の味を家庭でも～



ふんわり お茶の香りや味を楽しめる♪

鶏肉のお茶パン粉焼き



材料（4人分）

- ・鶏むね肉 ……………200g
- ・塩 ……………少々
- ・こしょう ……………少々
- ・マヨネーズ ……………28g
- ・パン粉 ……………20g
- ・粉末茶 ……………0.4g
- ・粉茶 ……………1.2g

作り方

- ① 鶏肉を食べやすい大きさに切る
 - ② 材料を全て混ぜ合わせる
 - ③ 180℃のオーブンで15分焼く
- ※ 粉末茶と粉茶の量はお好みで調整してください

▶写真の給食献立は…

- ・鶏肉のお茶パン粉焼き
 - ・大根のゆかり和え
 - ・ごてんばコシヒカリごはん
 - ・さつまいものみそ汁
 - ・ごてんばこめこのムース
 - ・牛乳
- (2024年11月26日)



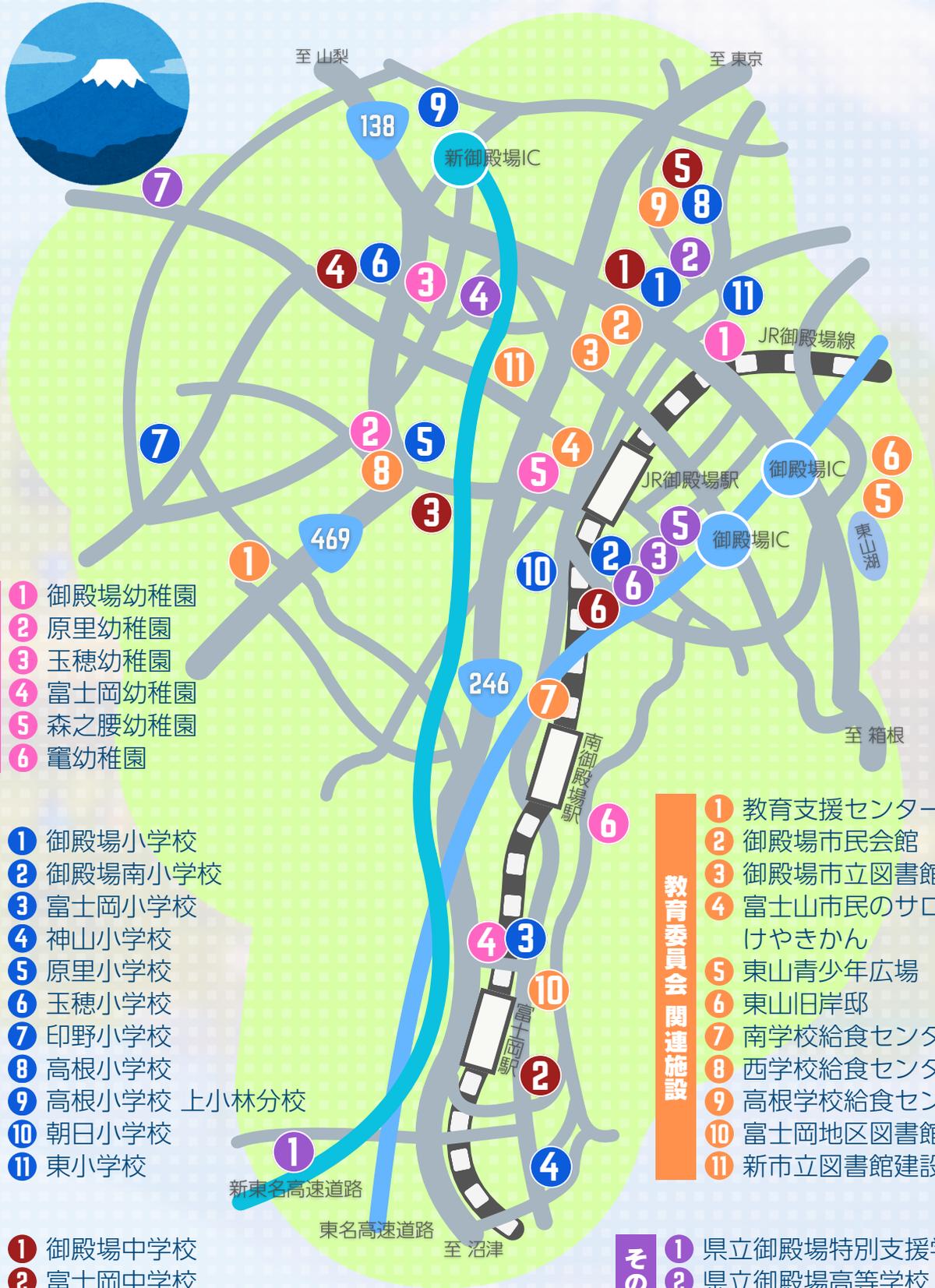
調味料は味をみながら
お好みで調整してください！
レシピは「学校給食献立表」
で紹介しています。



御殿場市給食マスコット『たべっぴー』

13

教育施設位置図



- 公立幼稚園**
- 1 御殿場幼稚園
 - 2 原里幼稚園
 - 3 玉穂幼稚園
 - 4 富士岡幼稚園
 - 5 森之腰幼稚園
 - 6 竈幼稚園

- 小学校**
- 1 御殿場小学校
 - 2 御殿場南小学校
 - 3 富士岡小学校
 - 4 神山小学校
 - 5 原里小学校
 - 6 玉穂小学校
 - 7 印野小学校
 - 8 高根小学校
 - 9 高根小学校 上小林分校
 - 10 朝日小学校
 - 11 東小学校

- 中学校**
- 1 御殿場中学校
 - 2 富士岡中学校
 - 3 原里中学校
 - 4 西中学校
 - 5 高根中学校
 - 6 南中学校

- 教育委員会関連施設**
- 1 教育支援センター
 - 2 御殿場市民会館
 - 3 御殿場市立図書館
 - 4 富士山市民のサロン
けやきかん
 - 5 東山青少年広場
 - 6 東山旧岸邸
 - 7 南学校給食センター
 - 8 西学校給食センター
 - 9 高根学校給食センター
 - 10 富士岡地区図書館
 - 11 新市立図書館建設地

- その他教育機関等**
- 1 県立御殿場特別支援学校
 - 2 県立御殿場高等学校
 - 3 県立御殿場南高等学校
 - 4 私立御殿場西高等学校
 - 5 私立御殿場聖マリア幼稚園
 - 6 私立みなみ幼稚園
 - 7 国立中央青少年交流の家



御殿場市教育委員会の組織図

教育委員会

- 教育委員会は教育の中立性を保持し、教育の振興を図るため設置された合議制の執行機関です。
- 市長が議会の同意を得て任命する教育長及び5人の教育委員で組織されます。
- 学校その他の教育機関の設置・管理、学校教育に関する事項、生涯学習、文化財等に関する事項を所管しています。

教育長

教育部長

教育総務課

- 庶務スタッフ ☎0550-82-4520
*教育委員会会議、庶務、市育英奨学金、就学援助等に関すること
- 教育ICTスタッフ ☎0550-78-6233
*教育の情報化の推進、教育ICT環境、機器整備や活用、セキュリティ対策等に関すること

教育施設課

- 施設スタッフ ☎0550-82-4531
*教育委員会の所管する建設事業の総合調整、教育財産の維持管理に関すること

小学校

- 御殿場小学校 ●東小学校 ●御殿場南小学校 ●富士岡小学校 ●神山小学校
- 原里小学校 ●朝日小学校 ●玉穂小学校 ●印野小学校 ●高根小学校
- 高根小学校上小林分校

中学校

- 御殿場中学校 ●南中学校 ●富士岡中学校 ●原里中学校 ●西中学校
- 高根中学校

幼稚園

- 御殿場幼稚園 ●富士岡幼稚園 ●竜幼稚園 ●原里幼稚園 ●玉穂幼稚園
- 森之腰幼稚園

学校教育課

- 教育指導スタッフ ☎0550-82-4534
*教職員の人事、教育課程、学習指導及び進路指導、学校教育、幼児教育、教育相談に関すること
- 教育指導センター
*教職員の指導・研修に関すること
- 教育支援センター
*一人ひとりに寄り添いながら不登校児童生徒の学習活動をサポートします

社会教育課

- 社会教育スタッフ ☎0550-82-0339
*生涯学習の推進、家庭教育、地域づくり、成人教育、青少年教育等に関すること
- 文化スタッフ ☎0550-82-4319
*文化芸術の振興、市民会館、東山旧岸邸、文化財審議会、文化財保護に関すること
- 図書館スタッフ ☎0550-82-0391
*図書館業務、図書館資料の選定・発注・除籍、図書館協議会、市史に関すること
- 青少年センター ☎0550-82-0339
*補導・環境浄化・相談等に関すること

学校給食課

- 南学校給食センター ☎0550-78-6689
- 西学校給食センター ☎0550-89-2944
- 高根学校給食センター ☎0550-82-6182
*学校給食に関すること



問い合わせ先

- 公立幼稚園に入園したいとき
保育幼稚園課 ☎0550-82-4126
- 公立小中学校の入学、転校
学校教育課 ☎0550-82-4534
- 市育英奨学金を借りる、返す
教育総務課 ☎0550-82-4520
- 就学援助制度を利用したい
教育総務課 ☎0550-82-4520
- 生涯学習の相談
社会教育課 ☎0550-82-0339
- 地域づくり活動の推進
社会教育課 ☎0550-82-0339
- 青少年の健全育成
社会教育課 ☎0550-82-0339
- 市の指定・登録文化財
社会教育課 ☎0550-82-4319
- ごてんば市民芸術祭
社会教育課 ☎0550-82-4319
- 地域の歴史
社会教育課 ☎0550-82-4319
- 暮らしの中に図書館を
図書館 ☎0550-82-0391
- スポーツによる健康増進
スポーツ交流課 ☎0550-82-4135

令和7年度版
御殿場の教育



編集
御殿場市教育委員会
発行
令和7年6月

御殿場の教育PDF版



本冊子と資料集を
ご覧いただけます